

令和5年度
宇都宮メディア・アーツ専門学校
学校関係者評価報告書

令和6年3月13日

宇都宮メディア・アート専門学校関係者評価報告について

宇都宮メディア・アート専門学校関係者評価は、デザイン関係業界関係者、保護者、学識経験者等から選任させた学校評議員を委員として委嘱し、本校が実施した自己評価結果に関する評価をおこなって頂いている。自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、現状における課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、学校運営の改善や教育活動等の向上に役立てることとする。

1 実施日時

令和6年3月13日

2 実施場所

宇都宮メディア・アート専門学校 404教室

3 実施組織

学校関係者評価委員会（学校評議委員会）

○委員

田村 晃：株式会社アイディ 代表取締役

手塚 陽子：株式会社Y's Style 代表取締役

青木 淳：フォトジェニック サクラスタジオ代表取締役・在校生保護者

佐藤 秀明：サトーカメラ株式会社

秋葉 直樹：作新学院高等学校教諭

（順不同 敬称略）

4 学校自己評価報告書について

(a) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(b) 評価項目：(1) 教育理念・目標

(2) 学校運営

(3) 教育活動

(4) 学修成果

(5) 学生支援

(6) 教育環境

(7) 学生の募集と受け入れ

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

(c) 評価項目に対する評価

4段階評価で点数評価した。

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

5 学校関係者評価報告について

上記の学校自己評価報告書を基に、評価委員毎に各項目について確認の上意見をご提出頂いた。ご提出頂いた意見、提案事項について項目ごとに以下の表にまとめた。

<評価項目の達成及び取組状況>

(1) 教育理念・目標

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3	3
	学校理念や教育目標は明確である。		
2	学校における職業教育の特色は何か。	4	4
	「ものづくり」精神を根底に「現代版職人」の養成を目指し、社会の動向を鑑みてスキルの向上と、専門性、ニーズに合わせた技術の習得を実施している。		
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	3
	職業実践専門課程としての機能を活かし、関連する業界の動向と将来性を常に注し、学校運営に反映させている。		
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3	3
	入学前のオリエンテーション、入学後、学年ごとに学生、保護者面談等で周知活動を実施しているが不十分である。より保護者に対する情報共有する為、OCや三者面談などの機会、折に触れアピールしている。		
5	学科の目標を学生は理解しているか。	2	3
	個人差があり十分とは言えない状況ではあるが、今後の周知の方法を検討して行く。		

課題

※ 理念や学科の目標は、個人差があり十分理解しているとは言えない。

今後の対策

- ※ 理解不足と思える学生には担任の個別面談やHR活動をとおして理解力を高める。
- ※ 学科の理念・目標の見直しと理解促進を職員間で推進する為、職員間での理念・目標の統一と周知徹底をしてゆく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

「5.学科の目標を学生は理解しているか。」昨年度評価2→今年度評価3
周知を繰り返した結果学生の中でも理解が少しずつ増え始めている印象である。

(2) 学校運営

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	目的等に沿った運営方針は明示されているか。	3	3
	年頭の理事長の挨拶や月例の職員会議・学科会議等で運営方針を示し、職員の共通理解を反芻させて理解を深める様に今後してゆく。		
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3
	理事長の運営方針を受け、校長を中心として、各教職員が半期ごとにPDCAサイクルを実施している。		
3	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3	3
	情報公開しているが、各情報媒体の特性を理解して、より効果的に活用したい。		
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3	3
	整備されているが、整備に対する理解度はまだ足りない点もある。		
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2	3
	システム化されているが、弊害も含め、検証をしてゆく必要がある。		

課題

※ 学校運営に対する教職員の意識や理解は不十分である。

今後の対策

※ 個々人のレベルから全体へと意識を高める取り組みを、職員会議等に行い、継続した方針の明示や理解促進を実施する。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

「5.情報システム化等による業務の効率化が図られているか。」昨2→今3
システム化は始めているが、弊害を含めて検証が必要。ソフト等を入れて2年ほど過ぎて
いるが、運用する教員たちが使いきれていないので、教職員の全員の意識の改善が必要に
感じる。

(3) 教育活動

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成。実施方針が策定されているか。	3	3
	理念に沿った教育課程は編成しているが、実施については不十分である。		
2	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	2	3
	基準は示されている。外部教官の授業評価などについて、主任をはじめ学科で確認相談し引き続き明確化（理解浸透）を図りたい。		
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3	3
	学外の関係者に教育課程編成員を依頼し、授業内容の改善に努めている。さらに、社会の動向を考慮して内容の修正を取組んでゆく。		
4	学生による授業評価を行い、授業改善等に活用しているか。	3	4
	前期後期に学生アンケートを実施し、授業改善に活かす為教官への情報開示を行い改善する取り組みを継続する。		
5	成績評価基準を明確化し、客観性・統一性を確保しているか。	2	3
	単位取得、進級、卒業資格に関して就学規則に明示している。より明確にする為に、現状の統一性をより検討して行く。		
6	資格取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	3	3
	体系的な位置づけが定着してきている。学科により違いはあるが、資格取得率は向上してきている。		
7	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	3
	取り組みを進めている。職業実践専門課程申請時にも必要となる教員研修をより多く実施している。		

課題

※ 授業アンケートを年間前後期に実施し授業改善に反映させているが、アンケートの内容や反映のあり方を検討する必要がある。

今後の対策

※ 計画的に相互の授業を見学し、授業に対する取り組みの向上改善に努める。また、教職員のスキルを高める研修会を今後も多く実施する。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

「2.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。」昨2→今3
主任が中心に評価の見直しや教官に相談できているし、判定基準を明確にしているのは良い。

「4.学生による授業評価を行い、授業改善等に活用しているか。」昨3→今4

前期・後期で授業アンケートを実施できている。各教官にフィードバックもしている上、校長から各教官に直接話をすることもあるのでより躍進を感じられる。

ただ、授業アンケートを前後期に実施しているが、内容やあり方を検討すべきではないか。

「5.成績評価基準を明確化し、客観性・統一性を確保しているか。」昨2→今3
 就学規則に書いている基準に満たない学生をどうフォローするか。

(4) 学修成果

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	資格取得率の向上が図られているか	2	3
	向上を図り取り組んでいる結果として、徐々に結果が出始めている。		
2	学生の就職活動状況を把握している	3	4
	教職員が共通理解を図れるよう定期的に朝の打ち合わせや学科会議などで報告しているが、充分とは言えない。		
3	就職について関連業界と連携しているか	3	3
	各学科で学んだ内容が活かせる就職先の確保や、継続的な求人の確保の為に働き掛けを実施している。		
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	3
	在校生の活躍は把握している。卒業生については情報収集強化する為に学校からの声かけなどの頻度を増やしている。		
5	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	2	3
	コロナ感染症以前の様に、企業訪問回数を就職部が中心となり回数を増やし始めている。		

課題

- ※ 卒業生に対するフォロー体制を整える必要がある。
- ※ 資格取得、卒業後の情報提供など、情報収集方法。

今後の対策

- ※ 卒業生の職場訪問を強化、卒業生の動向について共通理解を図り、学科間及び広報・就職担当や企業と連携を図る。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

「1.資格取得率の向上が図られているか。」昨2→今3

色彩検定の合格率がかなり上がった。担当教官から過去問を配布する等フォローアップした結果が如実に出ている。イラスト検定の合格者も増えている。

「2.学生の就職活動状況を把握している。」昨3→今4

就職部を中心に各担任と密に連携を取っている。定期的に打ち合わせをして報告をして、全体でも把握できるよう取り組んでいると感じる。

「4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。」昨2→今3

50周年を迎えるにあたって、卒業生の情報強化に取り組もうとしているが、卒業生のフォローが不十分に感じる。

「5.就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか。」昨2→今3

就職部を中心に、企業訪問やインターンを含む見学会を複数回実施している様なので今後も継続していけると良い。

(5) 学生支援

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	学生相談に関する体制は整備されているか	3	3
	カウンセラーを配置し、定期的に相談を実施し、担任との情報共有をより進めている。		
2	中途退学の要因、傾向等を把握しているか	3	4
	入学後の面接や調査書に記載された内容を分析し、入学前から高校在学中の記録を収集し、保護者と連携して学生の性格等を把握し退学防止を図っている。また、授業態度や学校生活を観察し、事前情報と合わせて対応している。		
3	中退率低減に向けた学内の連携体制はあるか	3	3
	カウンセラーを配置し、学生の悩み相談に対応している。また、毎週金曜日の朝の打ち合わせ時に学生の出欠状況等について職員全員で共通理解を図っている。		
4	定期健康診断を実施し、記録を保存しているか	3	4
	5月に集団検診を実施し、学生の健康管理に努めている。検診で健康面を指摘された学生には個別に指導している。		
5	保護者と適切に連携しているか	3	3
	必要に応じて適宜連絡し連携しており、保護者に合わせ柔軟に対応をしている。		
6	緊急時の連絡体制を確保しているか	3	4
	校内と保護者向けの緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を確保している		

課題

※ 学生数の増加による個別対応の形骸化や、個人ケアの時間確保。

今後の対策

※ 早い段階から就職を意識させ、消極的な学生には、インターンシップなどを勧め職業に対する意識を高め目標を明確にする。

※ 学科内対応力の強化と、学科を超えた情報共有や改善策の相互理解と協働体制の確立。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

「2.中途退学の要因、傾向等を把握しているか。」昨3→今4

人数増加による個人ケアの時間の確保できているか。

「4.定期健康診断を実施し、記録を保存しているか。」昨3→今4

学生の健康管理は、各担任が声かけ等をして、遅刻・欠席をフォローできている。

「6.緊急時の連絡体制を確保しているか。」昨3→今4

校内と保護者に向けた緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を確保できている。各担任はスマホ等ですぐに確認できる状態。学生には SNS を使い、緊急時の連絡ができています。

(6) 教育環境

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3	3
	学科によってバラツキがあり改善に努めている。		
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	2	3
	インターンシップ等、徐々に実施して参加学生を増やしている。結果、意識の改善がみられる。		
3	学校行事の運営に学生を参加させているか。	3	4
	実行委員を決めて企画段階から参加させ、率先的に参加する学生も出てきている。		
4	感染症予防対策は整備されているか。	3	3
	国や県の指導に則り対応している。		

課題

- ※ インターンシップのさらなる参加率の向上の為に研修先、内容を充実させるか。
- ※ 学校設備のさらなる充実。

今後の対策

- ※ 学生の要望も一部取り入れ、インターンシップ受け入れ企業の開拓と、時期や方法などのシステムづくりする。
- ※ 学校設備と授業内容を充実させ、学習意欲の向上とスキルアップさせる取り組みを今以上にしてゆく。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

「2.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。」昨2→今3
 インターンシップはどこの大学や高校も取り組んでいる。増やすことは効果的だがコミュニケーションを取るのが苦手な学生も一定数いて、インターンシップ等、就職するための選択肢を提示することが大事。この業種は向いてない、この職種はいいと選択肢の幅が広がる。就職部が中心に企業にアポイントを取りインターンに参加するケースが増えているが、就職を見据えて、企業に対してどう出向いていけるか。そこで感じたものをフィードバックできるか。学校設備を見直し、充実させてはどうか。

「3.学校行事の運営に学生を参加させているか。」昨3→今4
 実行委員を作り、企画立案から参加させている。

(7) 学生の募集と受け入れ

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	3	3
	高校訪問やガイダンスを通して、高校生や保護者、高校教員への情報提供を行っている。		
2	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
	ガイダンスやオープンキャンパス、高校訪問等を実施するなど広報活動の中で募集活動を行っている。		
3	入学選考基準は規程等で明確に定めているか	4	4
	毎年、基準を見直すなど規定を明確に定めている。		
4	学生募集において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	4
	高校訪問やオープンキャンパス等で適宜伝えている		
5	学生納付金は妥当なものか。	4	4
	各学科において設備や備品の整備に当て、授業の充実を図っている。		

課題

- ※ 建築インテリアデザイン科と同系列の学校があるので本校にどのように希望者を増やすか。
- ※ 学習意欲の高い学生の確保と、学科定員の充足率。

今後の対策

- ※ 本校の強みを打ち出し、他校との差別化を図りこの分野では負けない魅力的な授業を外部にアピールする方法の実施。
- ※ 高校生が参加する体験入学に、同席された保護者を個別に学科を紹介し理解を図っている。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

学習意欲の高い学生をどう確保するか。通信科・18歳に限らない学科等の検討をしてはどうか。

(8) 財務

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	収支のバランスは取れているか	3	3
	収支のバランスはとれているが、見直すべきコストを洗い出している。		
2	予算の編成を明確にしているか	3	3
	大枠では明確にしているが、細部については課題がある。		
3	予算編成は教育目標、業務計画と整合性があるか	3	3
	整合性はとれている。しかし、突発的な業務内容に対しての予算や計画に対応できる様にしておく事を検討している。		
4	財務について会計監査が適正に行われているか	3	3
	適正に取り組んでいるが職員に対しての公開は不十分である。		
5	財務情報公開の体制整備はできているか	2	3
	財務諸表、事業報告書等は作成しているが、財務情報の公開している。		

課題

※ 財務情報の公開を実施しているが、会計監査や財務情報について、職員の分析力・理解度を深める。

今後の対策

※ 学校財務に関して、今後も周知徹底を図り勉強会を充実させて理解を深める。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

こちらのご意見はありませんでした。

(9) 法令等の遵守

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評 価 項 目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	学校教育法、各種養成施設設置規則等を遵守している。		
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	個人情報管理規程を整備し、文書ロッカーの施錠、使用済名簿のシュレッダー廃棄等を実施している。		
3	自己評価の実施と問題点の改善行っているか	3	3
	改善は進んでいるが、現在の項目の見直しなど不十分である。		
4	自己評価結果を公開しているか	3	3
	自己評価結果をインターネット上の学校ホームページに3月にアップしている。		

課題

- ※ 授業評価アンケート結果から、問題点の改善には努めているが、全体的な一定の改善効果は見られるものの、個別の授業改善の効果が表れるまでには時間がかかっている。
- ※ 自己評価は、実施しているが評価項目等においても課題がある。

今後の対策

- ※ 評価項目など評価方法や取り組みについてさらに検討を加える。
- ※ 個人情報についての知識習得などの勉強会の実施。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

こちらのご意見はありませんでした。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1

評価項目・・・上段 達成・取組状況・・・下段		昨年 評価	今年 評価
1	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	2	3
	コロナ感染症後、訓練受託や講座など増えてきている。		
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2	2
	活動は奨励している。無償での活動に対し経済的な面から難色を示す傾向もある。		
3	産学連携に関する方針・規程を整備しているか。	3	3
	校内における職員の合意程度なので、方針や規定を整備しつつある。		
4	企業等と連携しての教育プログラム共同研究等の実績はあるか。	3	4
	企業等から依頼された作品作りは実施しているが、今後プログラムなど精査し実施して例年の課題として実績を積んでいる。		

課題

- ※ 社会貢献や地域貢献に興味・関心のない学生をどのように取り込むか。
- ※ 渉外案件としてイレギュラーに受け入れている外部制作物をより教育的な見地から見直す必要性。

今後の対策

- ※ 就職やアルバイトと関連させながら社会貢献・地域貢献の必要性を理解させる。
- ※ 規程の作成や依頼内容の意義を精査し、受け入れ基準を設ける。

学校関係者評価委員会コメント・質疑

地域活動等に参加したりさせたりしているが、評価が低い。
 「2.学生のボランティア活動を推奨・支援しているか。」昨2→今2
 学校側から話は出すが、学生が率先して参加はして少なく、場所が遠い等で二の足を踏む印象を受けた。
 「4.企業等と連携しての教育プログラム共同研究等の実績はあるか。」昨3→今4
 今年10月から教育編成委員会の方で職業実践専門課程に登録しようとしている。

6 学校関係者評価報告について

上記報告書内容は、学校関係者評価委員として、妥当な評価であることを確認し認めます。

令和6年3月13日
 宇都宮メディア・アーツ専門学校関係者評価委員会